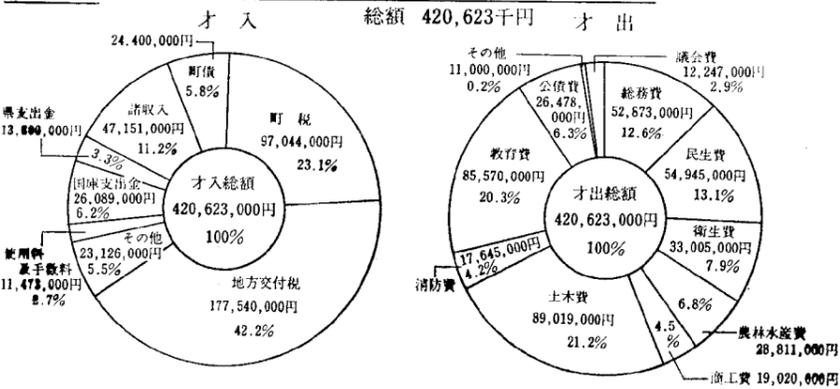
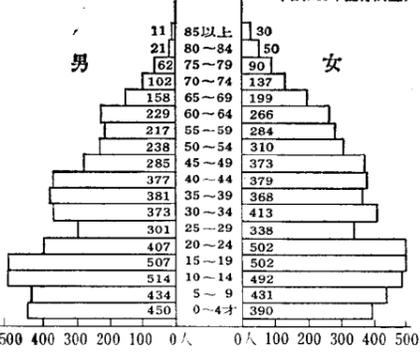


財政

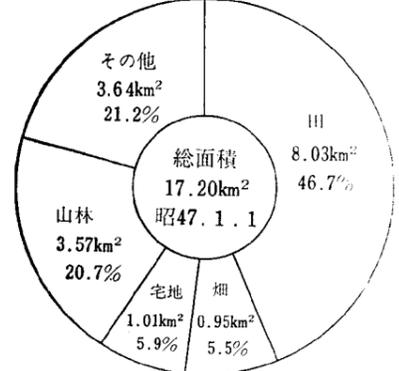
昭和47年度一般会計当初予算構成表



年齢別人口構成 (昭和45年国勢調査)



地目別面積割合



町民のみならず、最近の正確な数値で、町の姿が一瞥できるように、いま小須戸町では町勢要覧の編纂を急いでおります。内容は町の沿革・位置をはじめ人口、財政、選挙、道路橋梁、水道ガス、保健衛生、社会福祉、住宅、消防、安全、教育面では学校教育、社会教育、産業面では農業、商業、工業、観光、物産、交通、通信等全般にわたり主要指標と写真により記載される予定です。発行部数は約三千部、二十四頁綴りで今秋刊行の予定です。出来上りましたら町民のみならず大いに利用していただきたいと思っております。

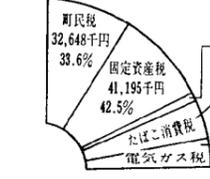
内容の一例を紹介しますと、およそ次のようなものです。

町の発展をみるため 町勢要覧を編さん



発行所 小須戸町公民館
発行人 間野良知
発行日 毎月1日
1部5円
印刷所 昭栄堂印刷所

町税の内訳



住民一世帯当りの負担

町民税	14,647円
固定資産税	18,481円
軽自動車税	1,383円
たばこ消費税	5,716円
電気ガス税	3,303円

毎月第三日曜は
家庭の日です
みんなで楽しく
すごしましょう

農業経営規模別農家数の推移

区	農家数									
	総数	専農	兼農	0.5以下	0.5~1.0	1.0~1.5	1.5~2.0	2.0~2.5	2.5~3.0	3.0以上
昭35年	719	275	444	155	178	144	143	61	27	9
昭40年	681	121	560	150	165	113	136	69	28	19
昭45年	640	65	575	133	145	110	119	75	36	21

商業種別商品販売額 (昭和45年)

区	分	商店数	従業者数	年間販売額	商当り年間販売額	従業者当り年間販売額
総	数	273	751	3,334,290	12,214	4,440
卸	売業	12	101	1,435,800	119,650	14,215
小	売業	242	599	1,833,770	7,578	3,061
	織物衣服身の廻り品小売業	45	108	366,190	8,137	3,390
	飲食料品小売業	97	227	595,160	6,135	2,621
	自動車・自転車等家具・建具・小売業	10	28	108,030	10,803	3,858
	家具・建具・小売業	47	106	282,710	6,015	2,667
	その他の小売業	43	130	481,680	11,201	3,705
飲	食店	19	51	64,720	3,406	1,269

工業種別製造品出荷額 (昭和45年)

区	分	事業所数	従業者数	製造品出荷額	事業所当り製造品出荷額	従業者当り製造品出荷額
総	数	88	1,496	3,654,000	41,523	2,443
食	料品	10	158	730,990	73,099	4,626
織	維	37	487	1,234,890	33,375	2,535
衣	服	2	50	132,050	66,025	2,641
木	材	10	87	250,690	25,069	2,881
家	具	3	55	95,790	31,930	1,741
紙		3	19	52,500	17,500	2,763
印	刷	3	50	66,900	22,300	1,338
機	械	3	243	318,290	106,096	1,309
電	気	6	94	107,160	17,860	1,140
そ	他	11	253	664,740	60,431	2,627

主要作物の生産量 (昭和45年度)

区分	水稲	大豆	なす	白菜	とまと	かき	もも	ねぎ	きり	ゆづ	かん
作付面積	774	13	11	10	7	6	5	4	4	7	4
生産量	3,860	362	13	243	144	159	67	76	117	186	78

町に社会教育指導員

前小学校校長 浅岡嘉久吉先生が就任

本年八月より新制度により、市町村に社会教育指導員をおくことができるようになりました。地域社会教育を振興させるための指導助言と、実質的な世話をさせていただくことが目的であります。

本町では、いち早く人選のうえ県へ申請しておりましたが、当九月一日付けで前小須戸小学校校長 浅岡嘉久吉先生が就任されることになりました。

浅岡先生は、いままさ申しあげるまでもなく、その立派な人柄、豊かな識見、熱意ある指導力を惜しまれながら、今春校長職を勇退されたのでありまして、社会教育についても重要なメンバーとして指導、協力をいただいていた方でありまして、先生の就任によって、とかく手不足だった町の社会教育陣容が一段と強化されたことを喜ぶとともに、今後のご活躍を心待ちにしております。

交通安全を

ねがってご寄附 雁巻の高橋又一郎さんは昨年六月、お孫さんが交通事故でケガをされたことから、せめて交通安全の充実をとの念願で、このほど金五万円のご寄附がありました。

町ではその意に添ったいと使途を検討しております。

民生委員二名増員

社会福祉行政の強化にともなう法の改正によって、本町でも民生委員が二名増員され、次の方々が新任されました。

小須戸 菅森キイさん
矢代田 長谷川信栄さん

七倍保障の

郵政省では九月一日から、死亡保障を厚くした新種保険を発売します。これは死亡保障を厚くした生命保険を求め最近の傾向にこたえるため、死亡の保険金額を満期の場合の保険金額の三倍の額とする第二種特別養老保険で「ユニークローパー保険」と呼ばれる新しい保険です。

この保険は、保険料のわりに死亡の保障が厚く特にこれに傷害特約をつけますと、事故災害死亡の場合の保険金額は、満期の場合の保険金額の七倍の額となります。

死亡保険金(3)十倍額 保険金(1)+傷害特約の死亡保険金(3)七倍の保障。

加入年齢は十八才から四十五才まで。保険期間は十五年と二十年の二種類で、保険料の払込期間は、それぞれの保険期間となっております。

各險がいっぱいの現代を安心して過ごすために、ぜひ郵便局の「ユニークローパー保険」をおすすめします。



近世小須戸町支配の人達
大庄屋 古田九右工門
柏 大治

- 一、二二一ヶ村
- 内二ヶ村
- 一、一人 付ヶ村
- 二十人 庄屋
- 三人 組名主
- 御植木高
- 一、一万五千四百七十三
- 本、漆木
- 一、五千七百十二本
- 杉木

- 一、五千四百四十五本
- 一、三百七十四本
- 一、長サ二百五十間
- 一、長サ二百五十間
- 一、長サ二百三十間
- 一、長サ三百三十間
- 横四十三間深サ二尺五寸

矢代田村 大日輪
一、長サ六十間
横二十八間 深サ一尺
矢代田村 頭無湯
一、長サ二百四十間
横八十七間深サ二尺八寸
金津村 若宮湯
一、長サ二百七十二間
横六十六間深サ二尺七寸
古田新田 親子湯
このように享保三年、吉岡庄屋時代の記録があるものの、吉岡庄屋は休役したのか、享保八年の小泉文政には組支配頭手助、与右工門(名主大関)ほか子成場支配兵右工門となっており、小須戸組の名主連中が交替で庄屋役の代役を勤めたものと思われる。

享保十二年には再び庄屋吉岡名兵衛、名主大関与右工門の名前が記録上に現われているが、享保十三年の横越島旧事記には、このとき加茂村・新津組・小須戸組・別々に別れたとある。この意味は不詳であるが、次の庄屋まで約十数年の空白があつて判然としない。しかし当時の庄屋が洪水のための農産物不作、大通川の水利の利害関係等、明治まで続いた。治水問題は庄屋の命取りのように思考される。

一、小須戸組支配のこと
但し元文三年四月(一七三八)被仰付候それより新津・小須戸組と一組にて支配九右工門仕候ことの時小須戸組手代は小須戸頭与右工門仕候(名主大関与右工門)与右工門暇取り、出戸村名主津兵衛、津兵衛暇取り、梅ノ木名主右工門相勤申候。新津組の手代は善道與野名主助五郎申候一、元文三年より八年目一、延享二年閏十二月五日(一七四五)一、小須戸新組に被仰付候こと、と記され再び小須戸組の独立が認められることになった。

永久選挙人名簿の縦覧について
昭和四十七年九月一日を基準日とし、九月十日を登録日とする永久選挙人名簿を、左記のとおり縦覧いたします。

縦覧期間 九月十一日から九月十五日まで
縦覧場所 小須戸町役場郵便局だより

